

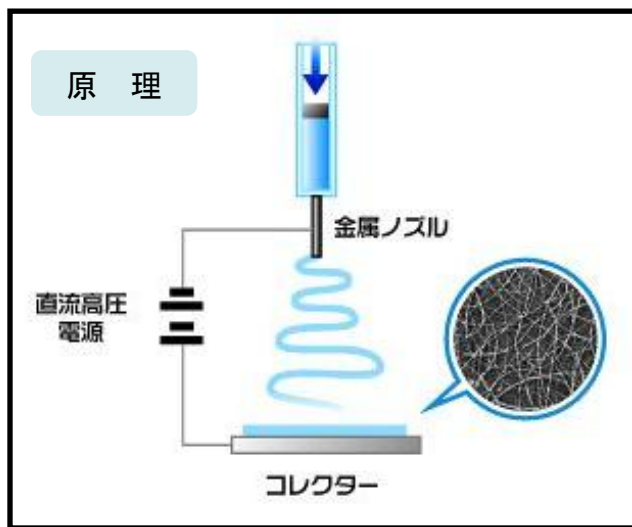
# ポリグリコール酸ナノファイバーの紡糸と物性評価

— ナノファイバー不織布製造技術に関する研究 (H23~24) —

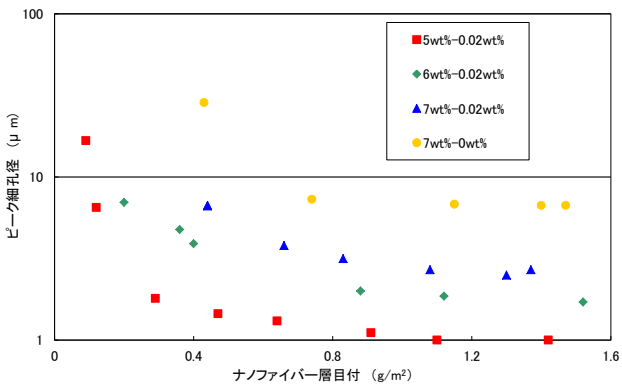
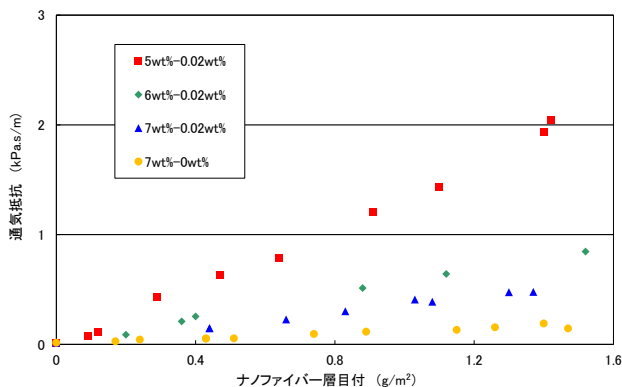
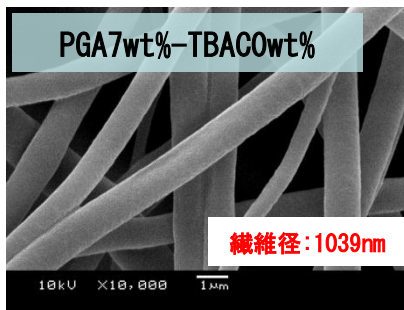
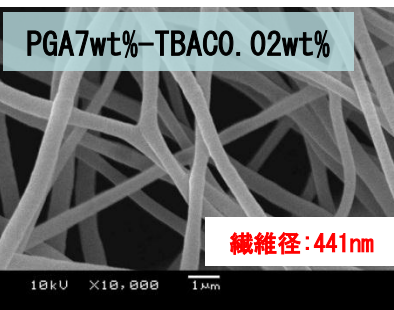
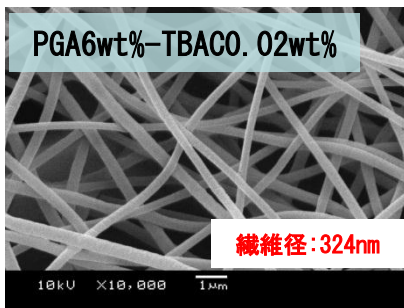
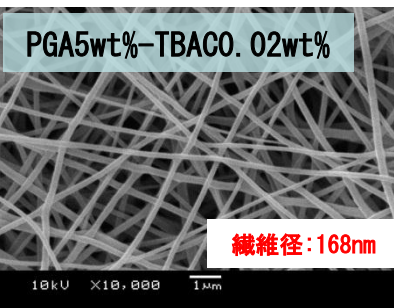
愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター 主任研究員 加藤 秀教\*

近年広く開発が行われている、エレクトロスピンニング法によるナノファイバーの紡糸装置を平成22年度に導入しました。

そこで、ナノファイバーに関する研究の基礎的取り組みとして、ポリグリコール酸 (PGA) について紡糸試験を行って紡糸適性を確認するとともに、各種物性評価を行いました。



導入した「ナノファイバー不織布製造装置」



ドラムコレクターにより作製したPGAナノファイバー不織布  
ドラム回転速度: 50rpm

PGAナノファイバー不織布の  
目付と通気抵抗及びピーク細孔径

- ポリグリコール酸ナノファイバーの紡糸適性について確認するとともに、各種濃度を変えることで繊維径の異なるナノファイバーを得ることができました。
- ナノファイバー層目付と通気抵抗及びピーク細孔径の関係について把握できました。

本研究はナノファイバー不織布製造技術に関する研究費により実施しました。  
※ (現) 産業創出課